

令和6年度滋賀県新興感染症リスクコミュニケーションシンポジウム開催要領

1 シンポジウムの目的

新興感染症の発生時は、行政や保健・医療・福祉関係者、リスク下にある一般県民やメディアなど、その事態に関係する人たちがリスクについての情報や意見を交換し、それぞれが互いの立場やニーズ、思い、反応などを理解しながら、信頼関係を築き、命や健康を守るための最適な意思決定や行動へ繋がられるよう、双方向のコミュニケーションを行うことが求められる。特に、保健・医療・福祉の関係者は、住民・患者・利用者等と密接にコミュニケーションを図ることが求められるため、保健・医療・福祉の関係者を中心として、リスクコミュニケーションの必要性について、考える機会を提供するため、シンポジウムを開催する。

2 名 称 感染症危機について考える

～新興感染症発生時に備えた保健・医療・福祉
分野におけるリスクコミュニケーションとは～

3 開催日時 令和6年11月29日（金）14:00から16:15（受付は13:30から）

4 開催場所 現 地 会 場 滋賀県庁危機管理センター 1階プレスセンター （大津市京町四丁目1番1号） オンライン会場 ZOOMウェビナー

5 参加対象 各病院・診療所職員・その他医療関係職員 高齢者施設・障害者施設職員・その他福祉関係職員 市町職員・保健所職員 保健医療福祉分野を目指す学生 その他参加を希望する県民

6 参加上限定員 現 地 会 場 80名（※） オンライン会場 500名

※現地会場は、「保健・医療・福祉関係者」「保健・医療・福祉分野を目指す学生」「行政職」のみ受講可能とさせていただきます。

7 講演カリキュラム

14:00～14:05	開会知事挨拶（ビデオメッセージ）
14:05～14:35	第1部 基調講演 ～休憩～
14:45～16:15	第2部 パネルディスカッション

8 登壇者

第1部	氏名(敬称略)	所属等
基調講演 講師	中島 一敏	大東文化大学健康科学部健康科学科 教授 一般社団法人日本環境感染学会 リスクコミュニケーション委員会 委員長
第2部	氏名(敬称略)	所属等
モデレーター	早川 岳人	立命館大学衣笠総合研究機構 地域健康社会学研究センター長
コメンテーター	角野 文彦	びわこリハビリテーション専門職大学 学長
コメンテーター	中島 一敏	大東文化大学健康科学部健康科学科 教授 一般社団法人日本環境感染学会 リスクコミュニケーション委員会 委員長
パネリスト	生田 雄	特別養護老人ホーム レーベンはとがひら 施設長
パネリスト	切手 俊弘	滋賀県健康医療福祉部 次長
パネリスト	楠井 隆	長浜赤十字病院 院長
パネリスト	砂川 富正	国立感染症研究所 実地疫学研究センター長
パネリスト	中村 由紀子	大津市保健所長

9 留意事項

現地会場での参加される方は、駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関を利用してお越しください。